

2020年4月23日

博報堂シニアビジネスフォース×趣味人倶楽部コミュニティラボ「アクティブシニア」緊急調査

新型コロナウイルス流行を機にデジタルで情報収集を行い 外出を控えて在宅生活の充実化を図る、アクティブシニア

- ・ 8割がインターネットでウイルスに関する情報を収集。テレビと並ぶ主要メディアに。
- ・ 8割が「3密」を回避。7割が「こまめな手洗い」「外出回避」「手指の消毒」を実施。
- ・ 「ニュースを読む」「無料動画・SNSの閲覧」「友人・家族との会話」等のオンライン化が加速。4人にひとりが「オンラインでの買い物が増えそう」と回答。
- ・ ウイルスをきっかけに、約半数が「家族の大切さ」と「日常生活の充実化」を再認識。
- ・ 新型コロナ終息後にしたいことは「国内旅行」「友人・仲間に出会える」「外食」

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂）のプロジェクトチーム「博報堂シニアビジネスフォース」は、株式会社オースタンス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：菊川諒人）の調査・ビジネス推進組織「趣味人倶楽部シニアコミュニティラボ」と共同で、日本最大級のシニアを対象としたSNSコミュニティサイト「趣味人倶楽部（しゅみーとくらぶ）」の会員を対象に、新型コロナウイルスの流行がアクティブシニア（※）にどのような影響を及ぼしているかについて調査を行いました。

調査の結果見えてきたのは、デジタルを駆使して情報収集をし、他者とのつながりを求め、在宅生活を充実させようとする能動的なシニアの姿でした。

※本稿では、「趣味や交流を楽しんでいる活動的な60歳以上の方」をアクティブシニアと呼んでいます。

【主な調査結果】

■アクティブシニアの8割がインターネットで新型コロナウイルスに関する情報を収集。

テレビと並ぶ2大メディアに。

- ・ アクティブシニアの82.7%がインターネットで新型コロナウイルスに関する情報を収集。テレビ（93.3%）の次に大きなメディアに。

■「3密」の回避は8割実施。「こまめな手洗い」「不要不急の外出の回避」「手指の消毒」は約7割が実施。

- ・ 日常生活で気を付けていることとして「3密（密閉空間、密集場所、密接会話）を満たす場所を避ける」と答えた人はアクティブシニアの79.9%で、アンケート上1位。男性（77.2%）よりも女性（87.2%）の方が回避に積極的。
- ・ 日常生活で気を付けていることとして「3密（密閉空間、密集場所、密接会話）を満たす場所を避ける」と答えた人はアクティブシニアの79.9%で、アンケート上1位。男性（77.2%）よりも女性（87.2%）の方が回避に積極的。

【主な調査結果（続き）】

■「ニュースを読む」「無料動画・SNSの閲覧」「友人・家族との会話」等のオンライン化が加速。今後は買い物もオンラインに。

- ・ オンラインで行うことが増えたことの一位に「ネットニュースを読む」（60.9%）他には「無料動画を見る」（27.6%）、「SNSを読む」（25.4%）、「アプリで家族・友人とやり取りする」（23.7%）が挙げられており、新型コロナをきっかけにアクティブシニアのデジタル行動が加速化。
- ・ 4人に1人が今後「オンラインショッピング」が増えそうと回答（実態と比べて約2倍）

■新型コロナウイルスをきっかけに意識するようになったこと：「家族を大切にしたい」「家での時間を充実させたい」「健康のため運動をしたい」

- ・ 新型コロナウイルスをきっかけに以前よりも意識するようになったこととして「家族を大切にしたい」（53.3%）「家で過ごす時間を充実させたい」（46.3%）「健康のために運動をしたい」（46.1%）が挙げられた。

■新型コロナウイルス終息後にしたいこと：「国内旅行」「友人・仲間に会う」「外食」

- ・ 新型コロナウイルスが終息後にしたいことの一位は「国内旅行」（69.1%）。他には「友人・仲間に会う」（58.1%）「外食する」（47.6%）が挙げられた。男性よりも女性の方がこの傾向は顕著。

【調査概要】

- 調査名：新型コロナウイルスによる生活への影響に関するアンケート
- 実施期間：2020年4月4日(土)～2020年4月9日(木)
- 調査対象：趣味人倶楽部（しゅみーとくらぶ）会員 <https://smcb.jp/>
- 回答数：1,829名（うち60歳以上1,549名のデータを分析）
- 調査主体：博報堂シニアビジネスフォース、および趣味人倶楽部シニアコミュニティラボ

【調査主体】

博報堂シニアビジネスフォース

博報堂が長年培ってきた「生活者発想」を「100年生活者発想」へと拡張し、個々のシニア層を深く洞察し、新しい価値観を創造するシニアビジネス実働部隊。20年間蓄積したオリジナルの調査データ、エキスパート人材、企業やメディアとのネットワークでシニアマーケットの課題解決を目指します。

博報堂シニアビジネスフォース：<http://hakuhodo-seniorbusiness.com/>

趣味人倶楽部シニアコミュニティラボ

国内最大級のシニア向けコミュニティサイト「趣味人倶楽部（しゅみーとくらぶ）」(会員34万人)を運営する株式会社オースタンスが、そのプラットフォームと知見を活かし、シニア調査、コミュニティプロデュース、シニア向け商品・サービスのコンサルティングや共同開発を行っていきます。調査研究とビジネスの力を繋ぎ、シニアのコミュニティを活性化していくことで、シニアの孤独問題に立ち向かいます。

趣味人倶楽部シニアコミュニティラボ：<https://senior-labo.ostance.com/>

【お問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室：大野、玉 koho.mail@hakuhodo.co.jp

① アクティブシニアの8割がインターネットで新型コロナウイルスに関する情報を収集。
テレビと並ぶ2大メディアに。

アクティブシニアの82.7%が、インターネットで新型コロナウイルスに関する情報を収集していることが分かりました。ほぼテレビ（93.3%）に並ぶ2大情報ソースになっています。

データ①：新型コロナウイルスに関する情報メディア（複数回答）



② 「3密」の回避は8割実施「こまめな手洗い」「不要不急の外出の回避」「手指の消毒」
は約7割が実施。女性の方が比較的防衛姿勢が高いことが明らかに。

日常生活で気を付けていることとして「3密（密閉空間、密集場所、密接場面）を満たす場所を避ける」と答えた人はアクティブシニアの79.9%で、アンケート上1位でした。感染の直接的原因となる状況を極力回避したい気持ちが伺えます。男性（77.2%）よりも女性（87.2%）の方が回避に積極的のようです。他に気を付けている点として「こまめな手洗い」「不要不急の外出の回避」「手指の消毒」はいずれも約7割が実施しています。

女性は他にも「不要不急の外出を避ける」「複数人での宴会や人が集まる場所に行くのを避ける」「同居していない家族友人と会わない」等様々な項目において男性よりも高く、防御姿勢がより強いことが分かります。

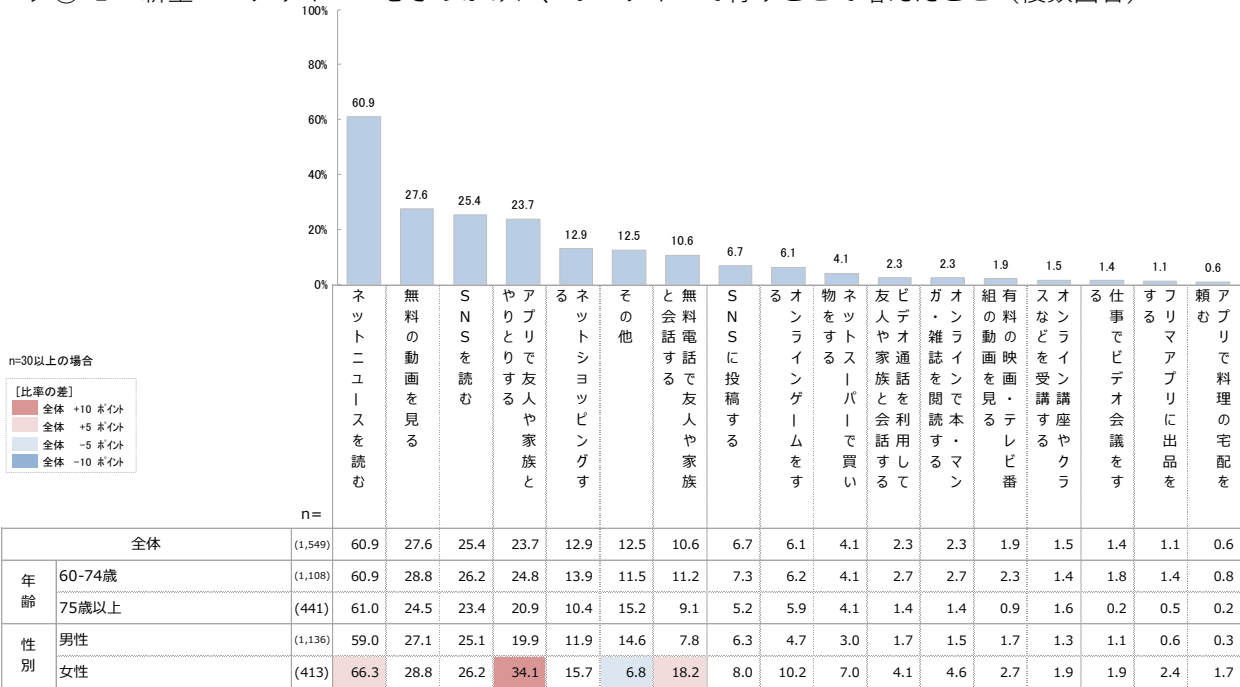
データ②：新型コロナウイルスの影響で日常生活において気を付けていること（TOP15）
（複数回答）



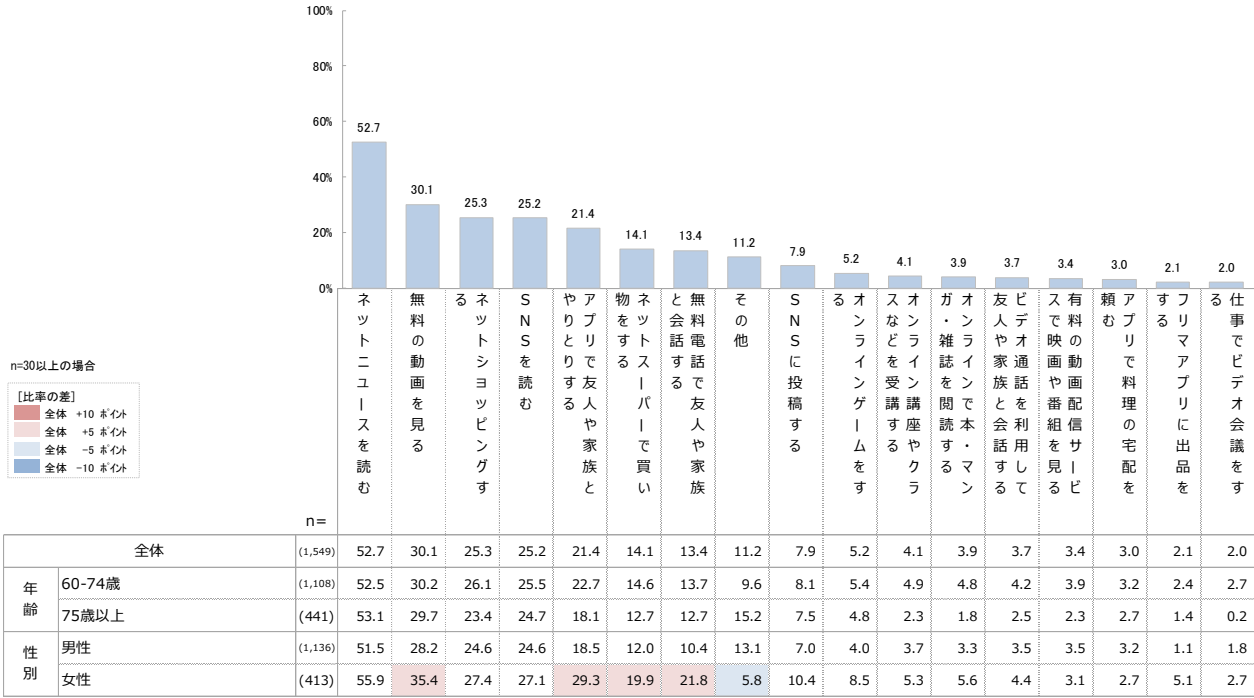
③「ニュースを読む」「無料画・SNSの閲覧」「友人・家族との会話」等のオンライン化が加速。
買い物も今後はオンラインに。

オンラインで行うことが増えたことの一位は「ネットニュースを読む」（60.9％）。他に「無料動画を見る」（27.6％）、「SNSを読む」（25.4％）、「アプリで家族・友人とやり取りする」（23.7％）が挙げられています。「ネットショッピング」が増えたと回答した人は1割程度でしたが、全体の4人に1人（25.3％）が「オンラインショッピングが今後増えそう」という意向を示しました（意向と実態の差分12.4ポイント）。また「ネットスーパーで買い物をする」は4.1％が増えたと回答した一方、今後増えそうと回答した人は14.1％と10ポイントの差があり、今後買物のオンライン化が進んでいきそうです。

データ③-1：新型コロナウイルスをきっかけに、オンラインで行うことで増えたこと（複数回答）



データ③-2：新型コロナウイルスをきっかけに、オンラインで行うことが今後増えそうなこと（複数回答）

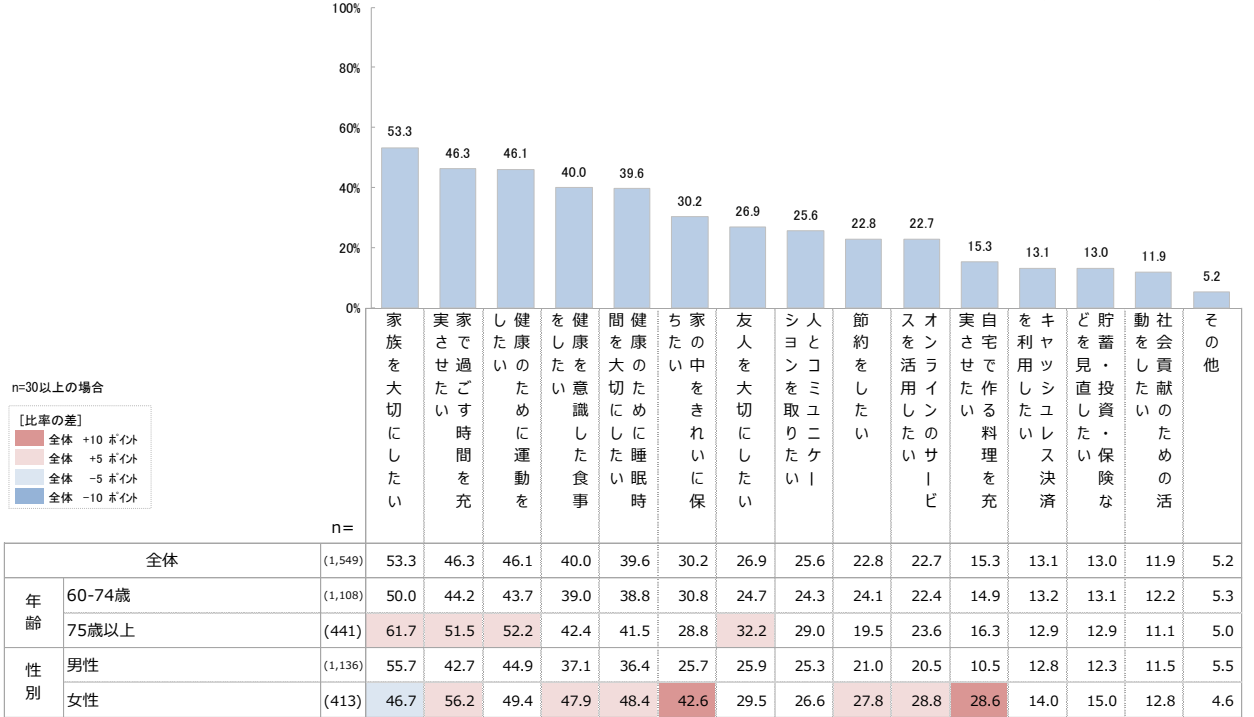


④新型コロナをきっかけに「家族を大切にしたい」「家で時間を充実させたい」「健康のために運動をしたい」

新型コロナウイルスが広がる前と比べて「家族を大切にしたい」（53.3％）気持ちが高まっています。その他、「家で過ごす時間を充実させたい」（46.3％）、「健康のために運動をしたい」（46.1％）気持ちが高まっており、家族とのコミュニケーションをサポートするものや、健康的なライフスタイルの質を高める知恵や商品・サービスに注目が集まりそうです。

また男女別で見ると、女性は全体的に高めですが、特に「家の中をきれいに保ちたい」（42.6％）、「自宅で作る料理を充実させたい」（28.6％）が全体より10ポイント以上高く、自宅で過ごす時間をより充実させようとする姿勢が見られます。

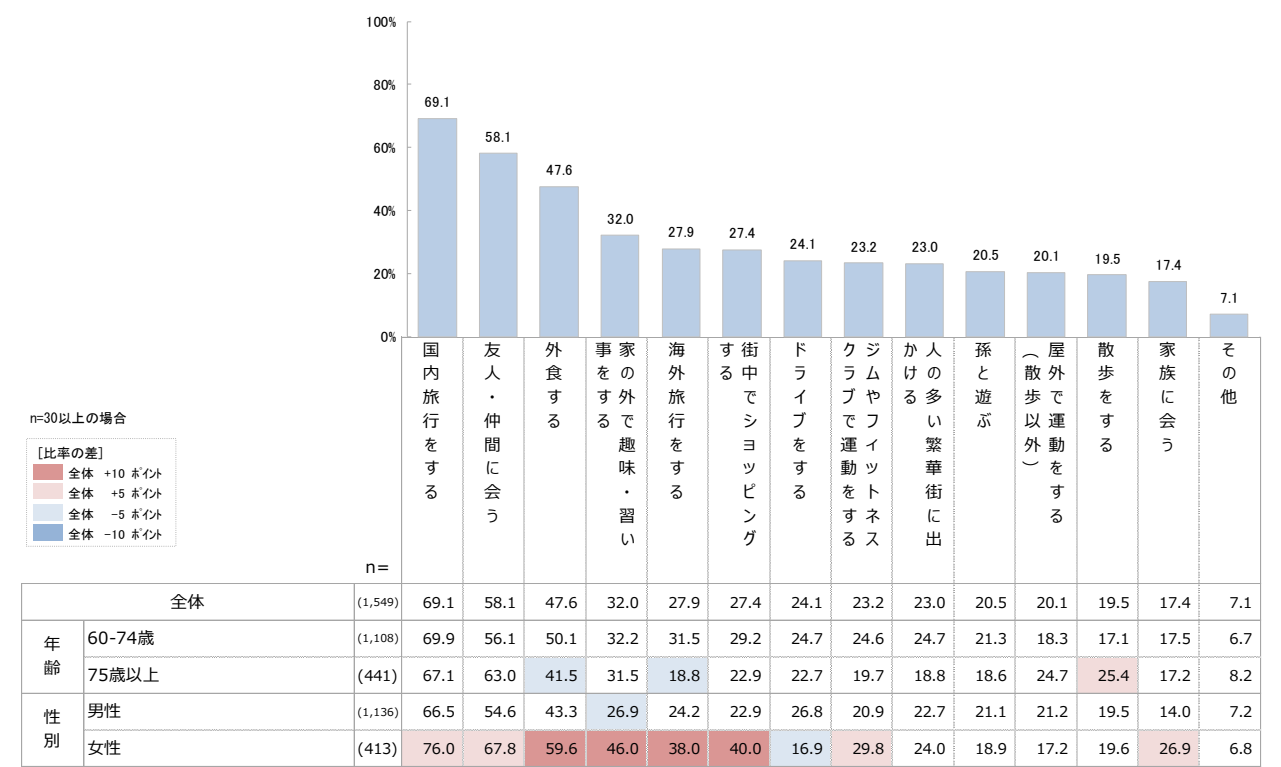
データ④：新型コロナウイルスをきっかけに以前よりも意識するようになったこと（複数回答）



⑤新型コロナウイルス終息後、したいことの上位は「国内旅行」「友人・仲間に会う」「外食」。男性よりも女性の方が終息後様々なことをしたい気持ちが強い。

新型コロナウイルスが終息後にしたいことの一位は、「国内旅行」（69.1％）でした。他は「友人・仲間に会う」（58.1％）、「外食する」（47.6％）が続きます。全般的に男性よりも女性の数値が高く、新型コロナが終息したら様々なアクティビティを行いたい気持ちが高いことがわかりました。

データ⑤：新型コロナウイルスの終息後やりたいこと（複数回答）



(以上)